

PowerChute PLUS on CLUSTERPRO for Linux HOWTO

1 はじめに

この文章は、PowerChute PLUSとCLUSTERPRO for Linuxを同時に使用するための参考となる情報を記述したものです。CLUSTERPRO for Linux動作時にUPSへの電源が断たれた際は、適切にクラスタを停止させ、サーバをシャットダウンさせる必要があります。ここでは、そのための設定方法や注意点を述べます。

この文章を書くにあたって次のバージョンのソフトウェアを使用しました。この他のバージョンのソフトウェアを使用した場合でも、いくつかの設定項目の読み替えでクラスタ化できると思われます。

- TurboLinux Server 日本語版6.1
- CLUSTERPRO for Linux Ver1.0
- PowerChutePlus-4.5.2-1

2 責任範囲

この文章は、PowerChute PLUSをクラスタ環境で使用するための注意点や設定例を参考情報として示すものであり、これらの動作保証を行うものではありません。

3 事前準備

PowerChute PLUSを両サーバにインストールし、実行できる状態にしてください。

(詳しくは、PowerChute PLUSのドキュメントをご覧ください)

4 設定項目の概要

UPSへの電源が断たれた際は、適切にクラスタを停止させ、サーバをシャットダウンさせる必要があります。そのために、以下の2点の設定を行います。

- 電源断検出後にクラスタシャットダウンを行うようにする。また、その時間 (図1 A部) を設定する。
- クラスタシャットダウンの完了後に、サーバのシャットダウンを行うようにする。また、その時間 (図1 B部) を設定する。

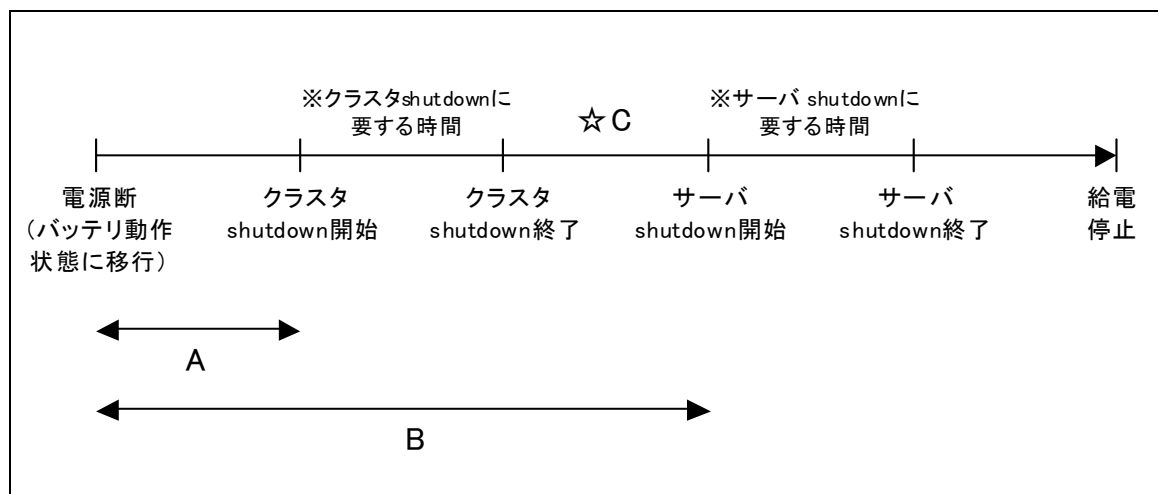


図 1 電源断からシャットダウン，給電停止までの処理の流れ

5 設定方法

以下の手順で設定を行ってください。

1. /usr/bin/ディレクトリ内に、「armstdn.sh」というファイル名のスクリプトを作成します。

armstdn.sh

```
#!/bin/sh
/usr/clusterpro/armmontr/bin/armstdn
stop
```

作成が終わったら、以下のコマンドを実行し、スクリプトの実行許可を設定します。

```
chmod +x armstdn.sh
```

2. xpowerchuteを起動します。
3. メニューから [Configuration] - [Event Actions...] を選択します。
Event Actionsウィンドウが表示されます。

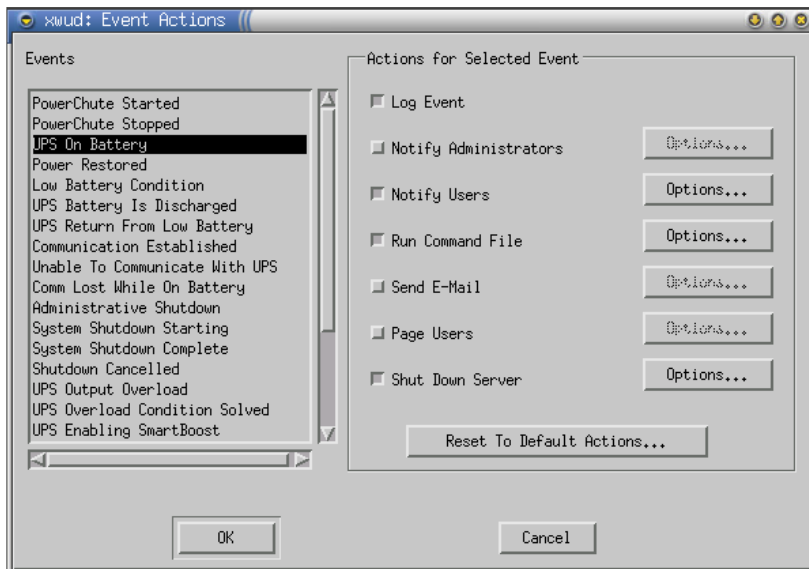


図 2 Event Actionsウィンドウ

4. Eventリストボックス内から、 [UPS On Battery] を選択します。
5. [Actions for Selected Event] 内の [Run Command File] チェックボックスをONにします。
6. [Run Command File] のOptions...ボタンを押します。
次に、 [Command File] に、先ほど作成したスクリプト「/usr/bin/armstdn.sh」を入力します。
7. [Wait Seconds Before Executing] のところに、UPSへの電源供給が断たれてからクラスタを停止するまでの秒数（図1のAの部分）を設定し、OKボタンを押します。
8. [Actions for Selected Event] 内の [Shut Down Server] チェックボックスをONにします。
9. [Shut Down Server] のOptions...ボタンを押します。
[Begin Shutdown Sequence In Seconds] のところに、UPSへの電源供給が断たれてからサーバをシャットダウンするまでの秒数（図1のBの部分）を設定し、OKボタンを押します。
10. クラスタを構成するすべてのサーバで、1~9の作業を繰り返します。

6 注意事項

3章で設定した、図1のAとBの時間の設定には以下の注意が必要です。

- ・ A<Bとし、AとBの間隔がクラスタシャットダウンに必要な時間以上になるように設定してください(60秒程度以上)。間隔が狭すぎると、クラスタのシャットダウンが完了する前に、サーバのシャットダウンが開始してしまいます。この場合、クラスタとしての正常な終了処理が完了していないため、次回起動時にダウン後再起動状態で起動します。

(特に、STOP.BATが時間のかかる処理をしている場合、クラスタのシャットダウンに時間がかかりますのでご注意ください)

- ・ 図1の☆Cのタイミングで復電した場合、クラスタシャットダウンは行われますが、Linux OSのシャットダウンは行われません。この状態では、CLUSTERPROマネージャ上でのサーバの状態は停止状態となります。サーバはシャットダウンされない状態になり、クラスタが停止状態のままになってしまう可能性があります。

- ・ 給電停止の前にサーバのシャットダウンが終了するようにBの値を設定してください。(サーバのシャットダウンに要する時間にご注意ください)